



平成 16 年 12 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社マルハグループ本社
代 表 者 名 代表取締役社長 五十嵐 勇二
(コード番号 1334 東証第一部)
問 合 せ 先
経営企画本部 広報・IRグループ長 土屋 克仁
(TEL 03-3216-0821)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、次年度より適用となります「固定資産の減損に係る会計基準」を睨んだ資産処分および不採算事業等の整理などの方針を決定し、その結果として平成 16 年 11 月 15 日付「中間決算短信(連結)」の通期業績予想を下記のとおり修正することを本日開催の取締役会にて決議いたしましたのでお知らせいたします。

あわせて、安定的な収益基盤と強固な財務体質構築を目指し、この度マルハグループ中期三ヵ年経営計画「ニューウェーブ 21」(平成 17 年度～平成 19 年度)を策定し、承認可決いたしました。内容については、本日開示の「次期グループ中期三ヵ年経営計画『ニューウェーブ 21』(平成 17 年度～平成 19 年度)について」をご参照ください。

記

1. 平成 17 年 3 月期連結業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)
(単位:百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	770,000	13,000	5,500
今回修正予想(B)	770,000	13,000	15,000
増減額(B-A)	0	0	20,500
増減率(%)			
前年通期実績	757,893	9,125	1,930

(前年通期実績数値は、マルハ株式会社の数値を記載)

なお、株式会社マルハグループ本社の個別業績は従来公表どおりで、変更はありません。

2. 修正の理由

マルハグループ中期三ヵ年経営計画「ニューウェーブ21」の実施に向けて経営基盤を整備すべく、「固定資産の減損に係る会計基準」を睨んだ不動産の売却などにより、特別損失 280 億円を計上するため、通期の業績を修正するものであります。

(内訳)

- (1) 「固定資産の減損に係る会計基準」を睨んだ不動産の売却等による損失・・・200 億円
- (2) 不採算事業の見直しの加速化による損失・・・・・・・・・・・・・・・・・・80 億円

個々の事象につきましては、随時、決定次第開示いたします。

以 上